# かながわ☆はとば会主催

# 秦野・弘法山魅力発見会報告

文責　小倉　仁志

2020 年 12 月 9 日

左から　加藤氏、奥谷氏、小倉、星野氏、堀野氏、中山氏、村松氏
伊藤氏、沼田氏、林氏

かながわ☆はとば会では、11 月 8 日（日）に「かながわ魅力探索ツアー秦野・弘法山ハイキング」を開催。その 1 カ月後の 12 月 5 日（土）（19 時～20 時 30 分開催）に「秦野・弘法山魅力発見会」と題して、GOOGLE　MEAT を使ってハイキング当日に気づいた点、および後日まとめたものをハイキング参加者それぞれが発表した。

以下には、報告会で発表された内容を整理して記載する。

なお、11 月 8 日（日）開催「かながわ魅力探索ツアー秦野・弘法山ハイキング」の行程は以下の通り。

**【日時】11 月 8 日（日）　鶴巻温泉駅　改札口　10 時集合**

**【コース】**

**鶴巻温泉駅⇒　弘法山山頂⇒　権現山山頂（昼食）⇒　今泉名水桜公園⇒　秦野駅（解散）**

**←　　約 4.5ｋｍ　　→　←　　約 4.5ｋｍ　　→**

**行程：約 9ｋｍ（休憩時間抜きで、約４時間コース）**

**【スケジュール】**

**10 時 00 分　　鶴巻温泉駅にて集合**

**↓　　自己紹介と写真撮影、グループ編成**

**10 時 20 分　　ハイキング出発（グループごとにまとまって行動）**

**↓**

**12 時 20 分　　吾妻山～弘法山～権現山、山頂着**

**↓　　昼食：各自持参**

**13 時 00 分　　出発**

**↓**

**15 時 00 分　　浅間山～弘法の清水～今泉名水桜公園着**

**写真撮影、簡単な打ち合わせ（後日の ZOOM 会議等）**

**↓**

**15 時 30 分　　秦野駅着、解散**

歩数：約 1 万 8 千歩

【秦野・地形】
秦野は神奈川県唯一の盆地であることを実感した。（奥谷氏）

以下は、村松氏のまとめたものを転用。
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

秦野市：人口　16 万 5 千人
東、北、西を大山 1251m、三ノ塔 1205m、塔ノ岳 1491m（最高峰）、鍋割山 1272m などに囲まれ、南を洪積世（約 258 万年前～1 万年前、ほどんど氷河時代）末に隆起したなだらかな渋沢丘陵に遮られてできた神奈川県唯一の盆地（秦野市主要部とほぼ一致）。

川は、水無川（塔ノ岳）、四十八瀬川（鍋割山・大倉尾根）、金目川（ヤビツ峠）、葛葉川（三ノ塔）、室川（渋沢丘陵千村）

湖は唯一　震生湖　大正 12 年の関東大震災で出来た。　紅葉きれい。

弘法の清水（全国名水 100 選の地に（昭和 60 年））、他、たくさんの湧き水あり。箱根の芦ノ湖を上回るほどの地下水水量。　秦野盆地湧水群。
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【鶴巻温泉】
　勤務先の先輩社員から、大昔に鶴巻温泉で新入社員研修を行っていた場所と聞かされていた。そのため、鶴巻温泉を訪れる前は賑やかな温泉街を想像していたが、想いむなしく、往時と比べて旅館もかなり減っているようで、随分寂れていると感じた。（奥谷氏）

　秦野のふるさと納税の返礼品として、陣屋が所有するロールスロイスに乗れる券もあることを初めて知った。（奥谷氏）

　鶴巻温泉の源泉は温度が低いため、再度沸かさなければならないが、カルシウム濃度は１ｋｇ中１９６２ｇあり、牛乳と同じくらいのカルシウム濃度であり、源泉に含まれるカルシウム濃度は世界一とのことを初めて知った。（村松氏）

以前、鶴巻温泉には宿が 17 軒あったが、現在は 4 軒の旅館しかない。（村松氏）

【地域】
　カンボジアの難民は現在日本に 1 万 1 千人ほどいるが、その一部のカンボジアの人たちの集落が吾妻山の近くにあることを初めて知った。（奥谷氏）

【物産】

＜物産館＞

秦野物産館では、お土産を箱ではなく、1 個ずつでも購入できる点が非常に良かった。（伊藤氏）

非常に目立たないところに店を構えているところが残念だ。（小倉）

〈写真＞　秦野市ホームページより転用

＜日本酒＞

金井酒造店の「MOZART」（モーツアルト）の純米大吟醸はさっぱりしており、甘口で飲みやすい。ブリの煮つけに合う。（堀野氏）

金井酒造店の「弘法山」は、ローストビーフにも合う。
同酒店の酒の種類の豊富さに驚いた。（伊藤氏）

以下は、金井酒造店のウェブサイトから転用。

**◆　モーツァルトシリーズ　◆**

**MOZART を聴かせて醸造された音楽醸造酒**

日本酒度の目安:

<−−−−−+−−−−−>

+5.0　±0　−5.0

辛い　甘い

*下記価格は、税抜価格です。別途消費税がかかります。

1. モーツァルト<原酒> K001　　2. モーツァルト<生貯蔵> K002

◆日本酒度:+3.0

◆アルコール度数:18.3%

◆原料米(精米歩合): 山田錦(35%),五百万石(60%)

◆価格:500ml ¥2,035

◆まろやかな香り、深いコクが特徴。

オンザロックでも味が崩れません。

◆日本酒度:+3.5

◆アルコール度数:13.5%

◆原料米(精米歩合): 山田錦(50%)

◆価格:300ml ¥815

◆しぼりたての風味が楽しめます。

スッキリとしたのど越し、飲み飽きない

しっかりとした味わい。

## 3. モーツァルト<吟醸> K003

◆日本酒度:+4.0

◆アルコール度数:15.5%

◆原料米(精米歩合):山田錦(35%)

◆価格:500ml ¥2,545

◆フルーティーな香りと、コクのあるお酒。

キリッとちょっと辛口。

## 4. モーツァルト<特別純米酒> K005

◆日本酒度:+0.5

◆アルコール度数:15.2%

◆原料米(精米歩合):五百万石(55%)

◆価格:500ml ¥1,525

◆軽快で滑らかなタイプ。

## 5. モーツァルト<大吟醸> K006

◆日本酒度:+4.0

◆アルコール度数:17.9%

◆原料米(精米歩合): 兵庫県加西市産山田錦(35%)

◆価格:500ml ¥3,670

◆2006 年モーツァルト生誕 250 周年を記念した新製品です。

しっかりとしたドライな味。厳選された大吟醸です。

(2008.10.1 改定)

僕は天使？
MOZART
モーツァルト
生貯蔵
K002

MOZART
品目 日本酒
モーツァルトを聴かせ大切に育てた新しい日本酒です
本醸造 生貯蔵酒
作品名 K002 僕は天使？
原材料名 米(国産)、米麹(国産米)、醸造アルコール
精米歩合 35%
アルコール分 13.0度以上14.0度未満 内容量300ml
製造者 有限会社 金井酒造店
神奈川県秦野市堀山下182番1
TEL. 0463(88)7521
要冷蔵
製造年月
2020.10
●飲酒は20歳になってから。
●開栓には十分注意して下さい。

＜タバコ＞

以下は、沼田氏が権現山に向かう道中に設置されている「秦野たばこ」の石碑を見て、秦野で煙草を栽培していることを初めて知り、興味の赴くままに本人がまとめた資料から転用したものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

昔、タバコ葉の種類は、**秦野種**と**黄色種（米葉）**があった。

**≪特徴・違い≫**

**秦野種**

**刻みたばこ用**

独特の味わいがあるため単品ではなく、多種と混ぜて用いられた。
天日（太陽の光）での乾燥が必要。 デリケートな扱いが求められる。
乾燥時は常に天候に気を配り、夕立が降りそうになると畑から戻った。

**黄色種（米葉）**

**両切りの紙巻きたばこ用**

葉が肉厚で幹も太く、秦野種に比べ、 栽培や収穫にかかる手間は少ない。
乾燥室が普及した後は、機械での温度 管理が可能となった。
機械化による、負担は軽減された。

⇒ 秦野種は高級品としての価値があったが、手間がかかった。
⇒ タバコ栽培は連作が出来ないため、輪作で、菜種や落花生を栽培した。

**煙草栽培の歴史と専売制度**

16 世紀半ば頃　　南蛮文化と共に、煙草が持ち込まれる。
1666 年（寛文 6 年）　「渋沢村年貢皆済証文」（秦野の煙草栽培最古の資料）
1707 年（宝永期）　　富士山噴火で田畑が崩壊。他の作物の耕作が困難
1877 年（明治 10 年）頃～
　　草山貞胤（1823～1905）、関野作次郎（1859～1935）らが耕作 技術の改良・普及に努める。耕作技術は各農家の秘伝だったが、一般に普及し秦野地域の生産量が増加。
1898 年（明治 31 年）　「葉煙草専売法」公布。※日清戦争後

1899 年（明治 32 年）　秦野に煙草試験場（曽屋）ができる
1904 年（明治 37 年）　「煙草専売法」公布。※日露戦争の財源確保のため
大正時代末期頃　下級品の両切煙草の人気増、上級品の刻み煙草の需要減。
戦時中 食料生産を優先し、煙草の作付面積は減少。
1949 年（昭和 24 年）　日本専売公社が誕生。秦野葉増産の方針があったが、高い賠償金等により、秦野種から黄色種へ移行する農家増。
1974 年（昭和 49 年）　秦野種の生産中止。
1984 年（昭和 59 年）　黄色種（米葉）の生産中止。秦野の煙草耕作が終了。

―以下、秦野市ホームページより転用――――――――――――――――――――――――――

江戸時代後期には、秦野葉の名で広く知られるようになり、後に薩摩（鹿児島県）、水府（茨城県）とともに「三大銘葉」の一つに挙げられるようになりました。幕末から明治にかけて民間喫煙習慣の拡大や技術改良により、秦野の煙草耕作は大きく発展し、大正から昭和にかけて全盛期を迎えました。

しかし 、煙草耕作は大変な労力がかかり、高度経済成長以降、第一次産業に従事する人口が減少してくると生産が低調になっていきました。秦野葉は、刻み葉（キセル用）であったため、嗜好品の変化から消費量も減少し、昭和 49 年を最後に秦野から姿を消しました。

その後は、紙巻き煙草用の米葉と呼ばれる黄色種が生産されたものの、かつてのような隆盛はなく、昭和 59 年に黄色種の生産も廃止され、秦野の煙草耕作は終焉を迎えました。

---

**「秦野たばこ」の名声**

・ 全国の煙草耕作者が、技術を学びに秦野試験場を訪問した。
・ 「薩摩たばこは天候で作り、秦野たばこは技術で作る。 水府たばこは肥料で作り、野州たばこは丹精で作る。」（石碑に記されていた）

**「秦野たばこ」がもたらしたもの**

・落花生の栽培←たばこ栽培の輪作作物
・インフラ等の整備（金融機関、上水道、鉄道、電気）
1881 年（明治 14 年）:「共伸社」（銀行類似会社）設立
※ 江陽銀行（平塚の私立銀行）1882 年 4 月、 日本銀行 1882 年 10 月
1890 年（明治 23 年）: 相模銀行に転換（銀行条例に拠る）
1941 年（昭和 63 年）: 横浜興信銀行（現 横浜銀行）に営業譲渡

沼田氏の感想：**タバコの歴史は、技術の進展と資本主義経済の縮図である**

伝統産業（手間･暇）は経済合理性の下で生き残るは難しい。上級品の刻み煙草（秦野葉）と下級品の両切煙草（黄色種）の戦いは、労働集約的・天候依存型の生産方法と効率的な生産方法の戦いでもあった。

高度成長期の中、タバコの需要が少数の富裕層から大衆化･低廉化に進むにつれて秦野種の需要は先細りしていき、かつて高級品として扱われていた秦野種はやがて消滅する運命をたどることになった。さらに、その１０年後、黄色種の栽培も終了し、秦野たばこの歴史は幕をおろした。

**＜落花生に関する商品＞**

以下は、小倉の資料から転用。

「落花生」

「新豆」と表示されていたが、ほかの落花生と比べて違いがさほど感じられなかった

「ピーナッツ最中」

「ピーナッツ最中」というネーミングから、さぞかしピーナッツが入っていると思いきや、1 個食べ切った時に、どこにピーナッツが入っていたのか、分からず、不満が残る。

「とん漬」

「ピーナッツ」と表示されているので、ピーナッツの味を期待したが、味噌の味が強すぎて、ピーナッツの味がほとんどしなかった。

「火おこし」

　食感はおこしだが、そこらのおこしとは一線を画す。
　厚みもあり、食べ応えがあるので、十分小腹は満たされる。
　甘さと唐辛子のピリッとした味が絶妙のバランスで、ピーナッツも本来の姿のまま入っており、次回も食べたくなる一品だ。ネーミングも郷土愛を感じる。

以上が、今回のハイキングで参加者が気づいたことである。

　かながわ☆はとば会は、今後もハイキングを通じて、県民でありながら今まで気づかなかったことを探っていく予定である。

ご参加頂きました皆様、お疲れさまでした。

以上